記者発表資料

平成１８年　２月２７日
国土交通省東北地方整備局
鳥海ダム調査事務所

# 「第１０回鳥海ダム懇談会」を開催します

**懇談会においては、年度内に策定される予定の子吉川河川整備計画について概要説明を行う他、来年度から環境影響評価法に基づく手続きを開始すること等を報告し、提言をいただきます。**

「第10回鳥海ダム懇談会」を下記のとおり開催します。

鳥海ダム懇談会は地域の発展に貢献するダムづくりを目指して、ダム事業及び地域づくりに対し各種施策の提言を行うことを目的として毎年開催しているもので、平成７年７月５日に第１回を行なって以来、今回で１０回目の開催となります。

懇談会は各界有識者、住民代表、行政関係者をもって組織しています。

記

１．　日　時　　平成１８年３月２日（木）１４：００～１６：００

２．　場　所　　本荘グランドホテル　２Ｆ 桔梗の間
由利本荘市岩渕下254　TEL 0184-23-4511

添付資料
○鳥海ダム懇談会　次第
○鳥海ダム懇談会委員　名簿
○鳥海ダム型式について

発表記者会：秋田県政記者クラブ、東北専門記者会、
日刊建設新報、日刊秋田建設工業新聞、日刊建設新聞

問い合わせ先

鳥海ダム調査事務所 調査設計課長 斉藤　明　TEL 0184-23-5120

# 第１０回「鳥海ダム懇談会」

日　時　平成１８年　３月　２日（木）
１４：００～１６：００
場　所　本荘グランドホテル　桔梗の間（２Ｆ）

## 次　　第

１．開　会

２．あいさつ

３．議　事

（１）運営要領の改正について

（２）第９回懇談会での意見について

（３）事業の現状について

（４）意見交換

（５）その他

４．閉　会

# 第10回「鳥海ダム懇談会」委員名簿

※敬称略、順不同

| 所　属／役　職 | 氏　名 | 備　考 |
|---|---|---|
| 秋田大学　工学資源学部<br>名誉教授 | 清水（しみず） 浩志郎（こうしろう） | |
| 秋田大学　教育文化学部<br>名誉教授 | 小笠原（おがさわら） 暠（こう） | |
| 秋田大学　教育文化学部<br>教授 | 井上（いのうえ） 正鉄（まさかね） | |
| 秋田大学　工学資源学部<br>助教授 | 石井（いしい） 千万太郎（ちまたろう） | |
| 秋田公立美術工芸短期大学<br>名誉教授 | 秋田（あきた） 穂積（ほづみ） | |
| 秋田県商工会連合会長 | 村岡（むらおか） 淑郎（よしお） | |
| 社会福祉法人矢島恵育会（けいいくかい）　理事長 | 大井（おおい） 永吉（えいきち） | |
| 住民代表 | 佐藤（さとう） 良一（りょういち） | 由利地域 |
| 住民代表 | 三浦（みうら） 晃（あきら） | 矢島地域 |
| 住民代表 | 佐藤（さとう） 八郎（はちろう） | 鳥海地域 |
| 住民代表 | 佐藤（さとう） 一太郎（いちたろう） | 鳥海地域 |
| 住民代表 | 村上（むらかみ） 陽子（ようこ） | 鳥海地域 |
| 住民代表 | 菊地（きくち） 長司（たけし） | 本荘地域 |
| 住民代表 | 伊藤（いとう） 恵美子（えみこ） | 本荘地域 |
| 鳥海ダム建設促進期成同盟会長<br>由利本荘市長 | 柳田（やなぎだ） 弘（ひろし） | |
| 元鳥海町長<br>鳥海地域自治区長 | 佐藤（さとう） 源一（げんいち） | |
| 秋田県<br>由利地域振興局　総務企画部長 | 佐藤（さとう） 博一（ひろかず） | 〃 |
| 秋田県<br>由利地域振興局　建設部長 | 山内（やまうち） 啓一（けいいち） | |
| 鳥海ダム調査事務所長 | 菅原（すがわら） 信雄（のぶお） | |

# 鳥海ダム型式について

鳥海ダム調査事務所では、これまで鳥海ダム型式について多くの施工実績を有する「ロックフィルダム」を主体として、実施計画調査を実施してきました。

また、並行して、コスト縮減や環境保全の観点から、その他のダム型式についても幅広く検討してきたところであります。

その結果、厚く堆積する砂礫等の河床堆積物の処理と有効利用が技術的な課題となっている鳥海ダムにおいては、「台形CSGダム」という新しいタイプの型式を採用することで、砂礫の有効活用が図られ原石山が不要となること、これにより経済性や環境面等で優位になる可能性が高いことなどが分かってきました。

このため、鳥海ダム調査事務所では今後 、「台形CSGダム」を主体に基本計画策定に向けた詳細の検討を進めていく考えです。

つきましては、「台形ＣＳＧダム」の特徴、「ロックフィルダム」との違い等を３月２日開催の鳥海ダム懇談会においても、ご紹介させて頂くこととしております。